

# 富山版

## 鳥越、SKプランニングを表彰

### 日測協北陸支部が業務報告会

日本測量協会北陸支部 日、富山市のホテルグランドプラザ富山において、



受賞者と関係者による記念撮影=11日、富山市内

2024年度業務報告会を開催した。

開会にあたり、大西支部長があいさつに立ち、

「例年は業務報告会と併せて、空間情報技術事例発表会を行っているが、能登半島地震の影響により、空間情報技術に関わる企業の皆様が多忙を極めており、今年は開催を取り止めた。北陸における未曾有の災害を経験し、そこで新たに活用した空間情報技術もあると思う。数年後、復興に関連する取り組みが落ち着いた時、それを整理して発表されることを期待している」と述べた。

続いて、日本測量協会本部から住田英二専務理事が、協会本部で進めている事業や決算、概況などの現状報告を含めてあいさつ。北陸支部の小嶋幸男専務局長が、23年度の業務報告と24年度の事業計画および予算などを説明した。

引き続き、公共測量成果の品質管理が優れた測量会社を表彰する、日本測量協会(清水英範会長)の「公共測量品質管理優秀賞」表彰式を挙行。北陸地区から、ともに基準点測量部門で初受賞となった鳥越(石川県八水町)の鳥越正樹代表取締役と森下健一技術顧問、SKプランニング(新潟市中央区)の古田敏広取締役統括技術部長、桐澤亨測量部長に、住田専務理事から表彰盾と記念品が授与された。

その後、国土地理院の白井宏樹北陸地方測量部長が「国土地理院の最近の取組」をテーマに講演し、同測量部の概要や役割、能登半島地震に関する対応、全国の標高成果の改定などを解説。また、富山大学人文学部3年生である春日美咲、村井瑞菜、田中旭の3氏が、「射水市商店街調査報告」として研究成果を発表した。